



子どもの声を聴く

校長 中村 佳明

いつも掲載しています  ←このマーク、子どもを「地域の宝」として地域社会全体ではぐくむための京都市民の共通の約束「京都はぐくみ憲章」のシンボルロゴです。はぐくみ文化の根付く京都市では、ごくごく当たり前のことかもしれませんが、今、約3年前に施行された「こども基本法」に基づき、家庭や教育の場において「子どもの意見を尊重すること」の重要性が改めて大きく取り上げられています。自分たちの生活について、また、身近なルールについて、子ども自身がどう考え、どう感じ、どう行動しようとしているかに、大人が誠実に耳を傾ける取組が全国で進んできています。

しかし、ここでわたしたち大人が大切にしなければならない視点があります。それは、「子どもの意見を聴く」ということは、決して「何でも子どもの言いなりになること」ではなく、また、「身勝手な主張を無条件に受け入れること」でもないということです。

クイズです。もし、次の①②③のような、我が子の意見を親として受け入れなかったら、子どもの権利を侵害していることになるでしょうか。反対に、聞き入れたら尊重することになるのでしょうか。



① ぼくがもらっ
たお年玉なんだ
からさ、好きなよ
うに使わせてよ。



② わたしのスマホ
の SNS、いちいち
エックしないでほしい
んだけど。



③ 「この時間に宿題
しなさい！」とか決め
るの、やめてくれない
かな。

原則として、いずれも「保護者の正当な役割」の範囲内であり、直ちに権利侵害になるわけではありません。財産の管理、安全の確保、学習環境の保障、これらはすべて親の責任です。ただ、ちょっと工夫を加えれば、子どもの自主性や自律心をはぐくむことにつながると思っています。

①や③については、「何にどのぐらいお年玉が必要なのか、計画を教えてね。」とか、「自分は、いつ、どのように宿題をしようと思っているのか、考えを聞かせてね。」というように、子どもの意見を聴いたり、話合って折り合いをつけて決めたりするのが効果的です。大事な親の役割なのですが、そのワンクッションで、案外子どもにもしっかりとした考えがあることに気付かされます。でも、いい加減な理由だったり、約束が守れなかったりした場合には、保護者として必要な判断をしてください。

②についてですが、 ネット犯罪やコミュニケーショントラブルから我が子を守るため、年齢や発達段階に応じた見守りは必要です。そもそも、契約者は保護者であり、安全に利用する責任も保護者にあります。でも、与えた以上、子どもにもプライバシーはあります。無断で全件監視するような行き過ぎた行為は、避けた方がよいかもしれません。ですから、「あなたの安全を守るためのルール」「他人に迷惑をかけないルール」を、あらかじめ親子で話し合い、共有しておくことで、社会性がはぐくまれます。

さて、学校でも、子どもたちが主体的に学習に向かう力を身に付けられるよう、「チャレンジX（テン）」を継続することに加え、「単元内自由進度学習」に挑戦し始めました。

学校は集団生活の場であり、お互いの安全を守り、思いやりをもって過ごすための約束が欠かせません。子どもの要求が他者の権利を侵害したり、安全や健康を脅かしたりするものであるならば、大人は理由を丁寧に説明しながら、正しい方向へ導く責任があります。

一方で、子どもたちの「こう思う」「こうしたい」「なぜ？」という声が安心して出せる学校でありたいとも考えています。大切なのは、その声をそのまま通すことではなく、まずは耳を傾け、対話することです。そうした対話を通して、社会のルールや他者への思いやり、多様な価値観を学んでいくことができます。子どもの声を聴くことと、大人の責任を果たすこと。その両方を大切にしながら、これからも子どもたちの成長を支える学校でありたいと思います。

【10月行事予定】

< ALT:ALT 来校日 SC:スクールカウンセラー来校日 >

日	曜	行事予定	保健	PTA・地域
1	木	朝会① 3年日文研・野鳥遊園見学④⑤	フッ化物1・3・5年	
2	金	4年3組研究授業 (4年3組以外は13:40完全下校)	<11月の主な予定> 6日(金) 1年生研究授業 (2年生以上は13:40完全下校) 12日(木) 就学時健診 (5年生以外は13:40完全下校) 20日(金) キラりんく参観・かざらっ懇談会(全校) 24日(火) 6年中学校体験授業 26日(木) 4年社会見学(疏水)・給食試食会	
3	土			
4	日			
5	月	委員会⑥(運動会係活動・アルバム写真) ALT		
6	火	運動会全校練習1①② SC		
7	水	たてわり給食	フッ化物2・4・6年・やまゆり学級	
8	木	4年農育「大根」間引き④	フッ化物1・3・5年	PTA コーラス部 どれみタイム(昼休み)
9	金	ほけんの日 ALT 4年守ろうフジバカマPJ④⑤		大枝中学校避難訓練
10	土			
11	日			学区民体育祭
12	月	スポーツの日		
13	火	ALT SC		
14	水	運動会全校練習2①②	フッ化物2・4・6年・やまゆり学級	
15	木	運動会前々日準備	フッ化物1・3・5年	
16	金	運動会前日準備(1年~4年 13:30 下校)		大枝中学校体育祭
17	土	運動会		
18	日			
19	月	代休日		
20	火	安全防災の日 SC		
21	水	運動会予備日 (運動会の場合は午後は通常授業)	フッ化物2・4・6年・やまゆり学級	
22	木		フッ化物1・3・5年 歯科検診2・4・6年	
23	金	1・2年校外活動(動物園) ALT		
24	土			
25	日	陸上・持久走記録会(6年生)		オータムフェスタ (3年生 出演)
26	月	クラブ⑥(アルバム写真)		
27	火	4年地域生き物探偵団(8:45~12:10) SC		
28	水	5年社会見学(自動車工場・飲料水工場) ALT	フッ化物2・4・6年・やまゆり学級	
29	木	6年2組研究授業 (6年2組以外は13:40完全下校)	フッ化物1・3・5年 歯科検診1・3・5年	
30	金	避難訓練(防犯)		
31	土	PTAフェスティバル		

いきいきと学ぶ子
＜確かな学力＞

☆ 2学期の学習も元気いっぱいがんばっています！！ ☆
校外での学習やコミュニティーティーチャーを招いての学習も盛りだくさんです。

＜キッズプラン交流会＞

キッズプラン交流会では、高学年児童が、自分の作品を低学年児童に紹介しました。

作品の中の工夫したところや、研究内容などを詳しく伝えることができました。



＜5年生 「米寿のお祝いのお手紙」＞

5年生が総合的な学習の時間の福祉教育の一環として、地域の米寿を迎えられた方へのお手紙を書きました。

桂坂民生児童委員協議会の方から、地域の米寿の方へお手紙を届けていただきました。今年度たくさんの方からお礼のお手紙を学校にいただき、子どもたちも喜んでいます。



＜4年生社会見学「さすがな京都」へ行きました＞

4年生が社会科「くらしとごみ」の学習の一環で伏見区にある京都市南部クリーンセンター「さすがな京都」の見学に行きました。市内各地から集められた廃棄物がどのように処理されていき、最終的にどのような形になるのか学んできました。



＜6年生命（いのち）のがん教育＞

6年生が、がん患者としてがんを経験した方から、病気と向き合う気持ちや友だちとの時間を大切にすることなどの話を聞きました。医師からは、「がん」という病気が身近にあるもので、身近な大切な人に健診に向かうことを進めることも大切だと話していただきました。

子どもたちは正しく病気を理解し、自分の生活を考えていくことが大切だということに気づくことができました。



しなやかでたくましい子
＜すこやかな体＞

☆ 10月17日（土）は運動会です！ ☆

各学年で、運動会に向けての学習の取組が始まっています。
子どもたちもはりきって取り組んでいます。

＜ 当日のスケジュール ＞

内容	担当
開会式・全校ダンス	本部委員会・保健委員会
① 高学年100m走 (5年生 → 6年生 の順で走ります。)	5・6年生・やまゆり学級
② 4年生 団体演技	4年生・やまゆり学級
③ 3年生 団体競技	3年生・やまゆり学級
④ 低学年 50m走 (2年生 → 1年生 の順で走ります。)	1・2年生
⑤ 2年生 団体演技	2年生
⑥ 応援合戦	応援団・全校児童
⑦ 中学年 80m走 (3年生 → 4年生 の順で走ります。)	3・4年生・やまゆり学級
⑧ 1年生 団体競技	1年生
⑨ 5年生 団体競技	5年生・やまゆり学級
⑩ たてわり競技 「つなひき」	全校児童
⑪ 6年生 団体演技	6年生・やまゆり学級
閉会式	本部委員会

徒競走の練習も、力いっぱいがんばっています。



みんなで楽しく、かっこよく
踊るところをみてもらおう。

* 子どもたちががんばる様子を、ぜひご参観ください。

自分も人も大切にする子
＜豊かな心＞

☆ 9月18日（金）第3回「なかよしトーク」では、
絵本『ないた』を題材に、
各学級で対話の授業を行いました。☆



今回は、中川ひろたか：作・長新太：絵の「ないた」という絵本をもとに、
子どもたちが「なかよしトーク」での対話を深めました。

「泣く」ということは、発達段階によって感じ方・考え方の変わってくる自己表現です。

しかし、泣きたいときには泣いていい雰囲気、泣いても馬鹿にされたりからかわれたりしない場所、
もしも辛くてやりきれない涙なら、共感してくれた
り慰めてくれたりする仲間がいる、そんなクラス、
そんな学校だといいいと思います。最後のページに、
「ぼくもおとなになったらなくなくなるのだろうか」という根源的な問いでこの物語は終わります。
どんなトークが展開されたのでしょうか。



◆ 低学年担任からの報告

はじめ、自分はどんなときに泣いたことがあるかについて、お互いに驚いたり笑ったりしながらグループでどんどん披露していました。

「どうして泣くのだろう」と泣く理由について問いかけてみると、くやしい気持ち、さみしい気持ち、感動するからなど、もしかしたら出てこないかも、と思っていた理由も出てきました。

その後、泣くのがはずかしい派、はずかしくない派に分かれて席を移動し、話し合ってみました。はずかしくない派の方が多く、「泣きたいときは泣いたらいい、その方がすっきりする。」「泣きたいときは泣いた方が健康に良い」という意見もありました。

驚いたのは、「泣いている友だちに声をかけるか」について対話したときです。「時と場合による」「その子がどんな子かによる」という意見がたくさん出たのです。「周りに大勢の人がいるときは、あまり声をかけない方がいい」「この友だちはしつこく「どうしたの?」と聞かれたくない子だと思うときはそっとしておく」「ひとりのときは絶対に声をかける」など、子どもたちの日常が垣間見えるような意見が出ていて、ほとんどの子が頷いていました。

◆ 高学年担任からの報告

「みんなの前で涙を流すのは平気?」ときくと、ほとんどの子が「恥ずかしい」と言いました。そこで、「人は泣きたくもないのに、どうして泣くのか」をテーマに話し合いました。

まず「どんなときに涙がでるのか」を絵本の主人公の涙をきっかけに考えました。痛いときや悔しいときなどネガティブな感情のときに涙が出る経験をした子どもが多かったです。

次に、子どもたちの発想が「涙を流す＝いやなことが起こる」ということなので、泣かない人生は幸せかどうかを考えました。すると、多くの子から、「泣く人生」の方が「感情が動いているから素敵」「泣かずに淡々とできるのは人間らしくない」「本当に気持ちが動いたときに涙は出るものだから、涙のある人生は幸せ」といった意見が出ていました。

泣かない方がいいと答えた子もいました。「わざわざ泣かなくても…」「うれしいときはちゃんとうれしいし、涙は関係ない」という子もいました。でも、「泣くことで自分は気持ちがすっきりする」とか「もやもやがなくなったことがある」といった話が子どもから出てくる中で、涙にも役割があるのかなという子が増えていったように思います。

お知らせ

＜就学時健康診断について＞

令和9年度にご入学予定のお子様を対象とした「就学時健康診断」を11月12日（木）に実施します。

なお、健康診断に関するご案内は、該当児童のご家庭へ京都市教育委員会より直接郵送されます。令和9年度新1年生の保護者の皆様は、案内がお手元に届きましたら、内容をご確認いただきますようお願いいたします。

（お知り合いどうし、お声をかけ合って、開催の周知にご協力ください。詳しいお知らせはHPにも掲載されています。）